

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 04 16	中期総合計画主要施策番号		2-03 3-13	担当課	部・課	農政部・園芸畜産課	
事業名		BSE監視検査事業					内線	3175	
							E-mail	enchiku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、24カ月齢以上の死亡牛の検査を実施し、牛海綿状脳症(BSE)の発生状況の把握と防疫体制の充実を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 BSE発生要因が解明されていないため、県民の不安感が払拭されていない。 現在までに全国で35頭のBSEが発生している。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 国が全国的なデータの集積及び解析を実施・継続しているが、発生疫学の全ての解明に至っていない。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・牛海綿状脳症対策特別措置法に基づく全国一律な死亡牛の検査体制の維持が必要である。							
	事業内容	・搬入された牛(24カ月齢以上)からの検査材料(脳幹部)の採材:佐久家畜保健衛生所、松本家畜保健衛生所 ・BSEのプリオン検査:松本家畜保健衛生所							
実施期間	H15 ~		根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、牛海綿状脳症対策特別措置法、家畜伝染病予防法					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H19)			達成状況		評価	
	BSEの発生状況の把握及び発生予防体制の充実を図る。		24カ月齢以上の死亡牛の届出があった全頭に対する検査を実施すること。			死亡牛全頭のBSE検査を実施し、結果は全て陰性であった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	10,990	11,087	10,439	国庫・県単	国庫	
	決 算 額 (B)		千円	10,970	10,177		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,378	2,718	2,579	歳出節別	共済費13、賃金2,850、需用費6,210、役務費674、委託料7、使用料216、負担金208 (単位:千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	6.10	6.00	5.90	内訳等		
	概算人件費 (C)		千円	43,554	42,894	42,179			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	54,524	53,071	52,618				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	死亡牛のBSE検査		頭	1,091	1,066	1,050			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	当該検査は、牛海綿状脳症対策特別措置法により都道府県に義務付けられていることから、実施面等に見直しの余地は認められない。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		BSEの発生状況を把握し発生予防体制を充実させるため、事業を継続して実施する。						